別記様式第2号(第8条第2項関係)

令和　　年　　月　　日

研究倫理教育受講修了証

研究倫理教育責任者　殿

 指導教員

 　部局等名：

 　職名：

 　氏名：

（記名押印又は自署）

以下の者は、下記の研究倫理教育を受講したことを証明します。

研究倫理教育※1の該当（○をする。）

1.研究倫理教育（大学院生Advanced（M））　2．研究倫理教育（大学院生Advanced（D））

3.研究倫理教育（学部生）

受講者

所属：　　　　　　　　　　学年：　　　　　　　学生番号：

氏名：

研究倫理教育

 実施日：令和　　年　　月　　日

研究倫理教育の実施者※2：

内容（原則として以下の手順に従い、全てを実施すること。実施した事項にチェックを入れる。）

* 研究倫理教育の実施者、受講者の双方がテキスト※3を熟読した。
* テキストの内容を受講者が要約説明した。
* 研究倫理教育の実施者が受講者に対して、要約説明の内容についての質疑を行った。
* 当該分野において特に問題となる箇所、当該分野の慣習等について議論し、理解度の確認を行った。

□　研究倫理教育（大学院生Advanced（M）、(D)）において、研究倫理教育の実施者が本学の不正事例・処分・影響を資料※4により解説した。（映像資料※4の視聴も可）

その他、特に実施したこと：

※1　研究倫理教育（大学院生Advanced（M））、研究倫理教育（大学院生Advanced（D））及び研究倫理教育（学部生）は、原則として研究室単位で実施する。

※2研究倫理教育の実施者は、原則として指導教員とする。教育効果を期待して、ポスドク等を研究倫理教育の実施者とすることもできるが、その場合は、内容の適切さの確認を指導教員が行うこと。

※3　研究倫理教育（大学院生Advanced（M））及び研究倫理教育（大学院生Advanced（D））のテキストは、以下のものを利用する。

独立行政法人日本学術振興会「科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－」

SectionⅣ「研究成果を発表する」

研究倫理教育（学部生）のテキストは、以下のものを利用する。

　　　本学が作成した「レポート作成上の注意」、「研究倫理案内」

※4　本学の不正事例・処分・影響を解説した資料及び映像資料は「いろは」、「もみじ」に掲載している。

「いろは」≫「各種案内手続」≫「研究関係の制度・手続」≫「5.研究倫理関係」

「もみじ」≫「学びのサポート」≫「大学院課程」